



新しい時代のはじまり、  
残すもの・変えるもの…!

## 第10回 定時総会2019 in 静岡 2019年6月21日(金)・22日(土) エクスカージョン

ホテルアソシア静岡 〒420-0851 静岡県静岡市葵区黒金町56番地

総会テーマ 「継続と革新」 新しい時代のはじまり、  
残すもの・変えるもの…!

### 地区全体で 盛り上げます。

担当副会長  
水野充弘



大阪、横浜、高知について、東京以外での開催となります。東海地区初のイベントが「総会」開催となったことは、大変喜ばしいことです。1年前から東海地区の支部長たちと月1回打ち合わせをして参りました。令和元年の総会で、念願の全国に支部が設立された総会となり、喜びもひとしおです。元気がでる総会になるよう、地区全体で盛り上げます。是非、静岡でお会いしましょう。

### 令和元年を 迎えるにあたって

東海地区長 実行委員長  
加藤敏章



10回目の定時総会を静岡で迎えることになりました。今回のテーマは「継続と革新」です。時代が変わっても残していきたい技術、時代と共に変わりゆく石材業界を取り巻く環境に対応した新たな試みと挑戦。今回の基調講演、討論会、総会を通して、現在そして未来の石材業界の指針になればと思います。

### トークセッション

#### 「お墓の未来

～これからのお墓ってどうなるの～  
森下瑞堂 × 嘉門タツオ × 射場一之



## 日本の真ん中から盛り上げます！

静岡県支部長  
会場設営担当  
北原昇



東海地区の会員みなさんと協力して大成功させたいと思います。

愛知県支部長  
総会設営担当  
吉田秀徳



月一の実行委員会を名古屋で10ヶ月開催!! 静岡総会を楽しみましょう!!

三重県支部長  
祝賀会設営担当  
谷本雅一



みなさまとの親睦を深め、より良い総会にしたいと思います。

岐阜県支部長  
広報担当  
吉野博



かつてない“極上”の総会に仕上げます。

## 『母の日参り』パートナーシップ2019共同プレス発表会

2019年4月23日(火) ワテラスコモンホール(東京都千代田区)

今年のプレス発表会には、各方面からのマスコミ約50社が出席。各パートナーから本年度の『母の日参り』への取り組みについて報告(射場会長が登壇)が行われ、続いて、第2回お手紙コンクール受賞作品のうち金賞の表彰式が執り行われました。選考委員長はドラマを中心に大活躍されている俳優の草刈正雄さん。登場時には、会場の雰囲気ガラリと変わったのが印象的でした。お手紙コンクールでは、1,322編もの心のこもった作品が集まり、第1回と合わせ3,179編の作品は、本として出版されることが決定しています。『母の日参り』の認知率は、こうした取り組みが功を奏し毎年増え、今年はなんと11%を記録しており、春のお墓参りの行事として定着していくことを予感させる数字です。当会では、こうした活動に引き続き参加していくと同時に他のお墓参り行事も認知率が上がるような活動を展開していきたいと思っています。会員一人ひとりがステッカーやポスターを貼ることで参加できる、これらの活動にご理解とご協力をお願いいたします。第2回お手紙コンクール受賞作品▶<https://hahanohi-mairi.jp/award.html> [広報委員 上野國光]



# 東北地区全体会議 in 山形

2019年3月1日(金)・2日(土)

山形県山形市 旅籠町にぎわい拠点「gura(グラ)」

参加者／全体会議:41名 視察研修:13名

今回の全体会議は、はじめての山形県開催で、なにか山形らしい&石屋にふさわしいところをと県産の凝灰岩「中川石」の石蔵を移築したレストラン・ラウンジホール施設をチョイスしました。会場の良い雰囲気の中、お寺の課題を石屋視点で考えるという切り口もさることながら、講師の井出さんによる業界バックグラウンドをデータでたまたみかけ後半の寺院への提案ワークに持ち込む流れは腹落ちが良く、さすがと思いました。私のグループではO



氏による偏執的ペルソナ設定に爆笑と困惑が入り混じりつつも最終的には相当にナイスなアイデアが生み出され、市場分析をしながら話し合いでつくりあげる大事さ面白さを再認識。実際の提案の際もこうありがたいと感じました。会場のキャパシティが小さく、多少窮屈でしたが懇親会まで逆に一体感が醸され、私自身とても楽しい時間を過ごさせていただきました。

[東北地区長 米本 泰]



採石・原石／加工部会「最強の営業マンを育てる」

## 国産銘石アドバイザー研修

瀬戸内編 その2

2019年3月6日(水)・7日(木)

日本有数の色石、備中青みかげと万成石採石場で本気の研修してきました!

あいにくの雨、靴がドロドロになるのも恐れず、参加者35名本気の研修をしてきました。今回の研修の見所は、色石の魅力を知ることでした。世界的に有名な芸術家イサムノグチに愛され、石原裕次郎のお墓にも使用された万成石と石質が硬く粘り気のある、なんと言ってもその青さがひととき生える備中青みかげ。実際に岡山県立美術館の内外壁にふんだんに使用される万成石や、墓地の中でも目立ち過ぎず主張する備中青みかげの墓石を見ることで、使用のイメージが湧き、客先に勧める言葉に力が加わるものとなりました。これらの石の良さは、採石元の話聞いてより強く感じる事ができました。研修に参加して、良かったですね。恒例のお座敷懇親会では、普段なかなか交わることのない他県からの会員同士、濃密談義に華を咲かせることができ、こちらも有意義な時間でした(^\_^)

[広報委員 吉野 博]



参加者のコメント

[静岡県] (有)大場石材 大場貴文さん

「何回も参加したくなる研修の良さ」

▶国産銘石アドバイザー研修には第1回・第2回に続いて連続参加となります。両採石場や産出された石材を使用した建築物等の説明を受けながら見て回り、石自体の歴史や採石の歴史、地域での盛衰を見聞きする中で、今後の採石場・加工地・小売店が同じ方向を向いていかなければならないと実感しました。勉強したことを生かして微力ながら「備中青」「万成石」などの国内材の販売につなげていきたいと思っております。

[岡山県] 鶴田石材(株) 関谷正史さん

「玉石採掘場見学で、新たな発見」

▶備中青みかげと万成石は、弊社と同じ岡山県でありながら見学をしたことがありませんでした。研修行程の工場見学は、一番楽しみにしていましたが、両方の工場見学はともに生憎の天気、足元を気にしながらの見学となりました。弊社との大きな違いは、岩盤から採掘するのに対して、両方も玉石を採掘する点です。思っていた以上に作業の大変さが分かりました。今回参加しなければ実感出来なかったことです。この貴重な体験を今後の仕事に活かしていきたいです。





## 石井幸太郎さん

静岡県  
(株)石井石材

志をもって  
仕事をしている  
人・企業が  
最終的に  
選ばれる  
と信じて

社会も消費者も大きく変容し、現在は真に価値のあるものしか選ばれません。しかし、売れば何でもよいということではなく、志をもって仕事をしている人・企業が最後には選ばれると信じていますし、そうあってほしいと願っていますので、地道に努力していきたいと思えます。夢と言ったら大袈裟ですが、私に関わった人が今より少しでも幸せになってくれればと思っています。それを実現させるための手段が仕事で、お墓(供養の気持ちを養う場・お墓づくりを通じて供養の感情を醸成する機会・家族の絆を再認識すること)だと考えています。

この想いを夢のバトンに託して、出来るだけ多くの人に手渡したい。

# わたしの夢



## 北原 昇さん

静岡県  
北原石材店

大切なお客さまを  
想い、心を込めた  
仕事を九代目に  
バトンタッチ

私の家は、お陰様で創業天明元年から引き継ぎ現在で八代目になります。平成五年に七代目の父親を亡くしてから常に、「決して大きな石屋にならなくても良い、小さくてもお客さんがうちに来られ、仕事を依頼して完成したあと、北原さんに頼んで良かったと言ってくれる人がたくさん作れるような店にしたい」と思っています。現在、私の長男は平成26年より茨城県の(有)坂口石材工芸にて三年間の勉強の後、現在は某大手企業で営業を学んでおります。息子自身、いずれは家業を継ぐと言っていますので、数年後には静岡に戻って、九代目として店を切り盛りしてくれると信じています。それまで、私自身もお客さまを大切に思い、心を込めた仕事をし、九代目にバトンタッチをすることが私の夢です。

## 国産銘石カタログ発売開始 定価12,960円(税込)⇒ 会員価格8,640円(税込)

この度、当会の産地証明書が発行可能な国産石材41石種を収録した「国産銘石カタログ」が完成いたしました。販売する側が当たり前知っていることでも、お客さまがご存知ないことが多々あります。その代表的なのが石種ではないでしょうか？有名だから、低価格だからという理由だけで選んでしまい後悔しているという話も耳にします。販売する際の説明不足が原因と考えられます。また、逆に説明を丁寧に重ねると、お客さまがより満足されることも間違いありません。「消費者目線で国産石材の魅力をお伝えできる資料をつくりたい！」そんな想いと、多くの方々のご協力とご尽力により完成した「国産銘石カタログ」は、石材写真・物性データ・石材の特徴などを分かりやすく解説するとともに、石材の採石場や建築物・墓石などの紹介写真も掲載しています。ご好評を得て、残り部数も少なくなってきています。この機会にぜひお申し込みください。顧客満足推進委員会の活動は石産協HPでもご紹介しています。[顧客満足推進委員会 委員長 能島孝志]



Check it!



# お墓ディレクター資格1級合格しました!



埼玉県 原産業株式会社 原 真(はらまこと)

年末あたりから、「勉強しなきゃ」というプレッシャーを勝手に感じ、あとであとでと自分を甘やかしながら正月休みを迎え、重たい教科書を開くも集中力が続かず、「また来年でいいよ」という勝手なささやきに心が揺れそうになるのを堪えながら、「最後まで粘るんだ!」と自分を奮い立たせた2年間。「資格を取ることがゴールではないぞ」と自分に鞭を打ちながら、これからも日々精進していきたいと思えます。

この教科書の内容は大変素晴らしく、とても勉強になると思えます。そんな受検生のために時間をかけて準備設営してくださった方々の恩に報いるために、お墓ディレクター委員会にも入らせていただきました!! 今後は、自分との闘いを乗り越えたみなさまと試験会場でお会いできることを楽しみにしております。[お墓ディレクター委員 原 真]



## ishiku 石工男子 49Dc 石屋ならではのLINEスタンプ



他にも“使える”  
LINEスタンプが  
計40種!



どんどん使って存在感を出そう!! 購入ダウンロードLINEスタンプショップ  
“石工男子”or“日本石材産業協会”で検索! QRコードはこちら →

### 事業案内 5月~7月

ホームページにカレンダーが掲載されています。

▶ 5月8日(水)・事務局(東京都)

2018年度 会計監査

▶ 5月10日(金)和歌山県

和歌山県支部設立総会

▶ 5月16日(木)・東京都

第1回 理事会

▶ 6月4日(火)・東京都

第2回 正副会長会議

▶ 6月21日(金)・静岡県

第10回 定時総会

▶ 7月11日(木)・東京都

第3回 正副会長会議

### 部会・委員会活動 5月~7月

▶ 5月15日(水)・東京都

女性ネットワーク委員会

▶ 5月15日(水)・東京都

顧客満足推進委員会

▶ 5月17日(金)・東京都

採石・加工部会  
公正競争規約推進委員会

▶ 5月22日(水)・東京都

お墓ディレクター委員会

▶ 5月24日(金)・東京都

建築環境部会

▶ 5月28日(火)・東京都

広報委員会

▶ 6月20日(木)・静岡県

顧客満足推進委員会

▶ 6月20日(木)・静岡県

輸入卸商部会

▶ 6月21日(金)・静岡県

6部会石材サミット

▶ 6月22日(土)・静岡県

役員候補者管理委員会

### 今月のイチオシ



### お墓の取扱説明書

#### 会員限定販売

A4版・6頁  
20部/3,000円(税込)~  
※1,000部以上の場合  
社名印字が可能です。

▶ 会員から消費者へ配布することでお墓の啓発活動にもつながります。建てた後も安心安全にお使いいただくためのトリセツです。ぜひこの機会にご購入ください。

### 事務局より

2019年度年会費は6月27日(木)のご請求です。改めてご請求書をお送りします。

石産協HP(会員ページ)

ログインID: groupjapan  
パスワード: 996U7h

石産協通信は  
webでも  
閲覧できます。



## PRAY for (ONE) 『祈りの日』記念法要

2019年3月27日(木)

池上本門寺 朗峰会館4階 大広間(東京都大田区)

2018年に「3月27日は祈りの日」として記念日協会に登録されました。由来は、685年3月27日の天武天皇の詔(みことのり)によるもので、日本書紀に次のようにあります。「諸国の家毎に仏舎を作り、すなわち仏像と經とお置きて礼拝供養せよ」。(一社)PRAY for (ONE)では、この日にあわせ「記念法要」後に、天才書家・金澤翔子さんによる揮毫で記念日の普及活動を行っています。今年は、マスコミに加え一般から約100人を招待した記念法要となりました。厳かな雰囲気でしたが、金澤翔子さんが登場すると一変し、彼女の明るい性格と相まって楽しい雰囲気でのイベントとなりました。金澤翔子さんのお母様を交え「祈りに関する座談会」も同時に行われ、障がい者の母親として翔子さんの幸せを日々祈っていたと語る姿も参加者も感銘を受けていました。来年も金澤翔子さんをお呼びし、記念日法要が決定しています。こうした活動を通し世の中に「祈り」が広がっていくことを願ってやみません。[広報委員 上野國光]



石を愛するコミュニティ

一般社団法人  
日本石材産業協会  
The Japan Stone Industry Association

東京都千代田区神田多町2-9 日計ビル2階  
Tel: 03-3251-7671 Fax: 03-3251-7681  
http://www.japan-stone.org/  
企画・編集・発行: 広報委員会

編集者: 広報委員 中島 仁